

レジメン名	nal-IRI+5-FU+LV
対象疾患	がん化学療法後に増悪した 治癒切除不能な膵癌
1クールの日数	14日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与法	投与時間	投与日
1	オニバイド	nal-IRI	70	mg/m <sup>2</sup>	div	90分	d1
2	レボホリナート	l-LV	200	mg/m <sup>2</sup>	div	2時間	d1
3	5-FU	5-FU	2400	mg/m <sup>2</sup>	div	46時間	d1~3
4							
5							
6							
補足	オニバイド：UGT1A1*6もしくはUGT1A1*28のホモ接合体を有する患者、又はUGT1A1*6及びUGT1A1*28のヘテロ接合体を有する患者では、50mg/m <sup>2</sup> を開始量とする。忍容性が認められる場合は70mg/m <sup>2</sup> に増量可能。						

催吐リスク	中等度
前投薬	パロノセトロン注0.75mg、デカドロン注9.9mg
減量規定	オニバイド、5-FU：好中球減少（Grade3以上）、白血球減少（Grade3以上）、血小板減少（Grade3以上）、下痢（Grade3以上）、発熱性好中球減少症 オニバイド：悪心・嘔吐（Grade3以上） 減量目安：オニバイド 1段階減量…50mg/m <sup>2</sup> 2段階減量…43mg/m <sup>2</sup> 5-FU 1段階減量…1800mg/m <sup>2</sup> 2段階減量…1350mg/m <sup>2</sup>
主な副作用	悪心・嘔吐、食欲不振、骨髄抑制、口内炎、下痢、倦怠感、脱毛
参考文献	適正使用ガイド（オニバイド） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	オニバイド：インラインフィルター使用不可 5-FU：46時間投与の際はインフューザーポンプ使用

投与スケジュール

Day ( 1 )			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	中心静脈（埋込型カテーテル使用） 生理食塩液250mL  1日1回（持続）	1本	持続
2	点滴中心静脈 メイン1側管1 パロノセトロン注バッグ0.75mg デカドロン注6.6mg デカドロン注1.65mg  1日1回	1本 1本 2本	15分
3	点滴中心静脈 メイン1側管1 5%ブドウ糖液500mL オニバイド注  1日1回  インラインフィルター不可	1本 70mg/m <sup>2</sup>	90分
4	点滴中心静脈 メイン1側管1 5%ブドウ糖液250mL レボホリナート注  1日1回	1本 200mg/m <sup>2</sup>	2時間
5	中心静脈（埋込型カテーテル使用） 5%ブドウ糖液250mL 5-FU注  1日1回（持続）  薬剤部はフェューザーの換算表を参照し調製	1本 2400mg/m <sup>2</sup>	46時間